

令和6年度島根県スポーツ競技力向上セミナー 開催要項

1. 目的	本県の選手強化の中心的役割を果たす指導者やスポーツ関係者を一堂に集め、選手育成や強化策等について研究・協議し、全国を目指す意欲と指導力の向上を図るとともに、中学・高校・一般の指導者の連携を強化することで本県の競技力の更なる向上を目指す。
2. 主催	公益財団法人島根県スポーツ協会
3. 対象	国スポ強化指定校競技指導者、中学校体育連盟専門部指導者 国スポ実施競技団体関係者、その他スポーツ団体・機関関係者
4. 日時	令和7年2月28日(金) 13時20分～
5. 会場	「島根県民会館(中ホール)」 松江市殿町158 TEL:0852-22-5506
6. 内容	

12:30～
13:20～13:30
13:30～15:00

受付

開会行事

講演

『フェンシング競技に学ぶ選手の育成・強化方法』

講師 江村 宏二 氏

((株)エクストリーム・スポーツ代表取締役社長)



15:00～15:10

(休憩)

15:10～16:20

事例発表

『ジュニアアスリートの育成・強化の取組について』

講師 田中 耕作 氏

(IPU・環太平洋大学

競技スポーツ科学科講師/スポーツ科学センター研究員)



16:20～16:25

閉会行事

※講演中の録音・録画・SNS等での発信は禁止します。

7. 参加費

無 料

8. 申込み方法

Google フォームからお申込みください。⇒⇒⇒

9. 問い合わせ先

公益財団法人島根県スポーツ協会 競技スポーツ課

TEL:0852-60-5052

<https://forms.gle/9j3LPCssr8mxnEuP9>



10. その他

本研修の参加により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。なお、テニス、バウンドテニスおよびオリエンテーリング資格は1ポイント、チアリーディング(コーチ3のみ)資格は都道府県体育・スポーツ協会実施の1回分の実績となりますが、別途、資格毎に定められたポイント獲得や研修受講などの要件を満たす必要があります。ただし、次の資格については、更新研修の実績にはなりません。

「水泳、サッカー、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック(コーチ4のみ)、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー」(2024年10月1日現在)

※指導者マイページへの受講実績の反映は、研修参加から平均2カ月後となります。

※詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

※本セミナーは、公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成を受け実施しています。

講師紹介

●江村宏二（えむら こうじ）氏

（株）エクストリーム・スポーツ代表取締役社長 / 元日本フェンシング協会強化副本部長）

大分県大分市出身。64歳。長年フェンシング競技日本代表選手として活躍し、1988年のソウルオリンピックに出場。また、全日本選手権において3度の優勝を果たす。現役引退後は指導者として日本代表監督やコーチを務め選手の育成・強化にあたる。2008年の北京オリンピックには監督として日本フェンシング初の銀メダル（男子フルーレ個人）獲得に貢献した。2017年にスポーツの指導やサポート、スポーツ競技会の企画運営を行う（株）エクストリーム・スポーツを設立し代表取締役社長に就任。現在もフェンシング競技の底辺拡大や若い世代の育成などに取り組んでいる。ご長女は2024パリオリンピック日本代表選手団の旗手を勤め、フェンシング競技サーブル種目でオリンピック史上初のメダルを獲得した江村美咲選手。

【競技歴】

- 1981年～1994年 フェンシング競技日本代表選手
- 1988年 第24回オリンピック競技大会（ソウル）出場 17位
- 1987年、1988年、1992年 フェンシング全日本選手権個人優勝

【指導歴】

- 1992年～2016年 フェンシング競技世界選手権日本代表監督・コーチ
- 2008年 第29回オリンピック競技大会（北京）フェンシング競技監督
- 2012年 第30回オリンピック競技大会（ロンドン）フェンシング競技コーチ
- 2016年 第31回オリンピック競技大会（リオデジャネイロ）フェンシング競技 GM



【主催者より】

本セミナーでは、江村氏の選手や指導者としての経験を踏まえ、選手の育成・強化に対する考え方や、地方クラブ・チームが担う役割、ご長女・江村美咲選手の成長と活躍から学ぶジュニア期の取組等についてお話をいただきます。

●田中耕作（たなか こうさく）氏

（IPU・環太平洋大学 競技スポーツ科学科講師 / スポーツ科学センター研究員）

鹿児島県出身。33歳。環太平洋大学を卒業後、鹿屋体育大学と筑波大学の連携大学院博士課程に進学。大学時代は陸上競技部に所属し、スポーツ科学の奥深さに魅了され、さらなる探求を決意。大学院では、幅広い分野における測定技術とデータ分析を追求し、知見を深めてきた。

2019年春、IPUスポーツ科学センターの創設と同時に専任教員として着任。ジュニア世代のランナーを対象とした補助トレーニング、とりわけプライオメトリクスの効果をテーマに研究を展開している。さらに、陸上競技部のサポートスタッフとして体力測定や動作分析に携わり、選手たちの成長を陰で支えている。

また、小学生を対象とした短時間で体力向上を目指す研究や、ジュニア車いす陸上選手、さらにはパラリンピック選手への支援にも取り組み、スポーツ科学の可能性を広げている。現場と研究を結びつけながら、次世代のアスリートたちを育成し、未来のスポーツ界を切り拓くことに尽力している。

【専門分野】運動生理学、トレーニング科学

- 【主な研究内容】ジュニアアスリートにおける競技パフォーマンスに関する研究
- 車いす陸上選手の高強度低酸素トレーニングに関する研究

【主催者より】

本セミナーでは、ジュニアアスリートの特徴を踏まえたジュニア選手の育成・強化方法について、環太平洋大学（IPU）スポーツ科学センターでの取組や、島根県の高校部活動チームへの体力測定・トレーニング指導などの事例を基にお話をいただきます。